

# 第三地区まちづくり(住民自治)協議会だより

■第15号 平成23年10月5日

■発行 第三地区まちづくり(住民自治)協議会

## 教育文化部会主催・9月3日少年・親善野球大会開催

8月に計画した第32回少年少女水泳大会は、雨天のため中止いたしました。待ちに待った参加者と関係者には、本当に残念なことと思います。来年の参加を期待しています。来る11月13日ペタンク大会の参加を待っています。

## 第36回少年野球大会居町混成チーム優勝



居町・東鶴賀町チームどちらも混成チーム・全員写真です



選手宣誓



竹村部会長始球式



打って!! と出番を待つ

## 第52回親善野球大会は、柳町チームが連覇



優勝・柳町チーム



準優勝  
榎堂町チーム

決勝戦



## 必須事務11

人権同和教育・啓発活動(活動を担当する部署の設置、研修会・住民集会の開催)の実施

### ア 目的・概要

あらゆる差別のない明るい社会実現のために、市内 32 地区住民自治協議会全てで人権同和教育・啓発活動を実施していただく。

また、住民自治協議会の中に、人権同和教育を扱う部署を必ず位置づけていただき、区や地区公民館等で開催される研修会及び住民自治協議会単位で取組む住民集会を実施していただく。

### イ 事業事務の実施方法

現在人権同和教育には、多くの人権課題が含まれており、あらゆる差別のない明るい社会実現のために、複数課題を持った研修会も開催できます。

#### 様々な人権課題

- ① 女性 ② 子ども ③ 高齢者 ④ 障害者 ⑤ 同和教育 ⑥ アイヌの人々  
⑦ 外国人 ⑧ HIV 感染者・ハンセン病患者等 ⑨ 刑を終えて出所した人  
⑩ 犯罪被害者 ⑪ インターネットによる人権侵害 ⑫ その他

## ハッとしたその瞬間(とき)

私たちの日常生活の中には、「うっかり見過ごしてしまっている出来事」や「なかなか見えにくい行為」がたくさんあります。それ故に、私たちがそこに大きな意味や価値があることに気づき、感じて、見つめていくことは、とても難しいことです。人権感覚のアンテナを張って、私たちの日常生活における意識と行動を見つめ直していくことは、人権が尊重される“共に生きる社会の実現”への第一歩になるのではないのでしょうか。



## 通勤電車の中で

混み合ってくる前に、毎朝そっとボックス席を立ち、席を譲るおしゃべり好きな女子高生たち。本当の意図はどこに？

朝の電車の中で、偶然出会った4人の生徒たち。その一連の姿(行為)から、人権教育で大切にしていきたい普遍的な視点＝「人権尊重の意義」「共に生きる心」「意欲と実践力」等＝が見えてくるのではないのでしょうか。

(人権教育推進プランP.4「人権教育の基本方針」より)

- 人権尊重の意義及び様々な人権問題について理解と認識を深めます。
- 自らの権利の行使に伴う責任を自覚して、互いに人権を尊重し合う「共に生きる心」を醸成します。
- 人権問題を自らの課題として解決し、人権を尊重する社会を築いていく「意欲と実践力」を高めます。